

日本獣医生命科学大学 同窓会報

第46号

平成27年1月15日発行
日本獣医生命科学大学
同窓会
東京都武蔵野市
境南町1-7-1
発行者 中 條 眞二郎
直通電話・FAX
0422-33-2916
E-mail dosokai@nvlu.ac.jp

平成二十七年 新年のご挨拶

日本獣医生命科学大学同窓会会長

中 條 眞二郎

同窓生の皆様におかれましては、
新たな飛躍の年の一步を踏み出さ
れましたことお慶び申しあげます。



母校には、前会報45号でお知らせしましたように、高架になった中央線からとても目立った真つ白な七階建ての新教育（E）棟が見えます。我々同窓生も胸を張れるようになりました。

E棟には、応用科学部の動物科学科が五階へ、第二校舎の食品科学科が六階へ、学内に点在していた獣医保健看護学科が四階へ移転しました。三学科が新しい教育・研究施設で、充実した学生教育と研究が行える環境となり今後の発展が楽しみです。

昭和13年に武蔵境に移転後77年目、現存する本館は麻布（現港）区役所を譲り受け、ヴォーリス館を含めた研究室、講義室等の施設は前世紀の遺物で最近まで当時の儘の建物でした。しかし、獣医学六年制に対応した設置基準を満たす為の施設として、緊急的に建てられた獣医学科と畜産経営学科のD棟は昭和59年に完成。更に30年を経て、130周年記念事業による教育施設E棟の完成をみて、昭和から平成の時代に相応しい目を見張る変貌を遂げました。獣医学6年生の制度移行時

にこの施設が設置されていれば、定員を現在の80名でなく120名に確保がされたと思うと悔やまれます。現学校法人理事長はじめ大学経営に携わる関係者の母校に対するご理解の賜と、同窓生一同感謝の気持ちで一杯です。

また、教育・研究施設のみならず学生の福利厚生施設の整備充実を同窓会も強く望んでおりましたが、残念ながら東大農場跡地への運動場と馬場の移転はできませんでした。しかし、E棟地下には、武道場、卓球場、多目的施設、トレーニング室等々が完備されました。本厚生施設整備により、室内競技のクラブ関連活動が盛んになるものと期待されます。

武道関連クラブの柔道・空手・剣道三部のOBによる道場開きと式典が、平成26年10月11日に開催されました。過去に三部による合同の催しはなく、初めてだと思えます。道場開きに参加されたOBの方々は、皆さん満面に喜びが満ち満ち、その後の懇親会もあつと云う間の楽しい時間を過ごしました。

本事業によるE棟の設置で、第一校舎の運動場は無くなりました。学生は運動場の要望をするのは必定で、池本学長の気苦労が増えそうです。そうしたご苦労を軽減できるように、同窓生の皆様に諸般の事情をお汲みとり願ひ支援協力方のご理解をお願い致します。

同窓会は例年、学生支援の一環として大学祭に金銭的支援を行ってききました。本年度は、大学祭期間中の11月2日、E棟の内覧会を目的として大学祭に参加しました。これは、応用生命科学部の両学科と獣医保健看護学科の同窓生に自分達の出た研究室（教室）の新しい施設等を見学して貰うことが目的でした。E棟の1階に同窓会のブースを開設し、

同窓生の方々の来校をお待ちしておりましたが、広報不足のせいかな期待ほど盛会ではありませんでした。今回の学祭参加は、在校生に同窓会を意識してもらおう良い機会になったと思えました。学生との交流を金銭だけでなく色々な形で深めることは、非常に大切な事で以前の施設では考えもつきませんでした。新たな施設を利用した有意義な体験をして今後のことについても検討したいと思えます。

E棟の完成によって、大学事務局も移転し本館は空室の状況です。以前から同窓会館を本館に設置したい旨を当局に伝えてあります。しかし、問題は本館が昭和初期に建設された建物で耐震整備がされてなく、耐震整備後に同窓会へ貸与許可が出るのか、現時点では未定です。現同窓会事務所では、事務作業を行うのも不自由で、来客者に座って貰う場も無い状況です。気軽に同窓生が来校し談話する場としても、是非同窓会館の実現に向けて働きかけていきます。

応用生命科学部の食品科学と動物科学の両学科が間もなく50周年を迎えます。私見ですが、50周年が学科毎に行われる場合は、小磯孝、山内直文両副会長を世話人として母校との連携も執りながら進めていきたい。

130余年の伝統ある母校の同窓会は、どうあるべきかを考える時期になったと痛感させられています。4学科の同窓生の数は均等となり、総数が増えており学部、学科のセクショナリズムを意識させないよう努力していますが拭いきれません。また、在籍女子学生が6割を超える状況にあり、同窓会への女性の参加が会の活性化になること間違ありません。女性の参加を促す良い制度がないもので

しょうか。両問題も含め同窓会を魅力的にする方法等々思案しますが妙案は見つかりません。

同窓会は、名簿の管理、会員への同窓会や母校の情報を伝える広報紙の発行に予算と時間を費やしています。今後は、母校に対して経済的な支援協力だけでなく、学生に対する就職活動を支援していきます。それは、広い分野で活躍されている同窓生を介し、各分野での縦横の繋がりによる情報交換を有効に活用して、学生の就活への協力も役目であると思います。

各学科共通して、地方の同窓生の比率は関東に集中し人口分布と同様大都市一極集中型です。地方県支部会に出席し会員から地方の同窓生を増やすことができないのかと多く質問を受けます。同窓会は、県支部会をベースとした事業方針を行っていますので支部会員の老齢化が目立ってきています。これは、国の政策と同様に地方の若返りの策として地方受験者を大切にした入試制度を大学側においていすると共に大学側のご理解を是非お願いしたいと働きかけます。大学が行う地方創世の実現に要望と期待を致します。

同窓会は、各県支部会の支部長と支部役員のご苦労と、また同窓会本部役員と各関係者に大変お世話になりながら年間事業の遂行に邁進しております。何卒同窓会運営にご理解賜りまして、一人一人の会費で日本獣医生命科学大学同窓会は運営されています。会費納入に絶大のご協力をお願い申し上げます。

平成二十六年度 日本獣医生命科学大学同窓会 代議員会開催される

平成26年7月20日(日)午後1時30分より、母校E棟1階の大講義室において開催された。

当日は午前10時30分より理事・監事会が開催され、議案書の再確認が行われた。

代議員会は、来賓に池本学長、学校法人日本医科大学佐藤理事をお迎えし、鈴木顧問、理事28名、代議員56名、支部代表8名の参加の下、吉田事務局長の司会で開会した。

最初に中條会長の挨拶があった。挨拶の概要は、同窓会組織の発展充実のため日々運営していますが、若い層が同窓会へ参加しないのが悩みの種です。

代議員会は、4学科の代表が同等に介して開かれることを望んでいる。この改革は伝統を壊さず、会則改正の検討も含め対応できると思う。社団法人化によるメリット・デメリットも検討している。

同窓会館は、合同教育棟に大学事務所が移転後、本館の一部を同窓会に利用させていただきようお願ひしている。具体的な話については時間を頂きたい。

130周年記念事業で皆さんにいただいた釀金が、日本獣医生命科学大学の同窓会、父母会、教職員の方々の奮発で、5月31日に1億円を突破した。



連携動物病院は、同窓開業医が大学の臨床センターを利用し、患者に高度医療を提供する制度で池本学長に制度化をお願いした。開業医に連携病院票があると、大学の宣伝にもなり同窓生が受験生を増加させる力にもなるので本制度を発足させた。

次に、日本獣医生命科学大学池本学長の挨拶があった。挨拶の概要は、皆様のおかげでこの合同教育棟が出来ました。経費は約36億で、先生方からの浄財金1億円も充てられます。

法人の教職員は約5000人、資金収支は約830億円の規模です。本学は50億弱円なので1/20の財政規模で運営されています。この大学は約6億円の黒字で、大学の存在を傷つけていません安心ください。

今学生が約16700人です。2013年のデータでは、男子学生が約7000名、約9000人が女子学生です。この代議員会を見ると女性が極めて少ない、女性の代議員を増やし、社会参加を進めてほしい。

近年クイーンズランド大学など11大学と交流を盛んに行っている。また国際化に対応できるカリキュラムの編成なども行っている。

続いて、学校法人日本医科大学佐藤雄三理事と同窓会鈴木昭顧問の紹介があった。議長選出は、会則に基づく代議員の中からの立候補者がなく、理事・幹事会で推薦された議長役が中條会長から発表され、佐賀県代議員立野利宗氏と福島県代議員森澤道明氏の二人が指名され、拍手で承認された。

今年度は名簿発行の年になる。前回、発送可能な会員一万余百人へ送り、好評だったので今年も名簿を全員へ送付したい。同窓会は名簿の管理と会報の発行で、同窓会や大学の情報を皆さんへ伝えることが重要な事業です。会報を年2回発行できればと思い、試行的に7月にも発行しました。できれば、今年度から2回発行としたい。



書記および議事録署名人は、事務局から書記に西根薫さん（日本獣医生命科学大学大学院生）、署名人には大学代議員の左向敏紀氏と川角浩氏が指名され拍手で承認された。

議長が議長席に着き議事が開始された。

第1号議案の平成24年度事業報告は荻野総務理事から説明があった。平成22年度から始めた130周年記念事業合同教育棟建設の募金活動は、この経済状況にも関わらず多数の同窓生のご支援・協力を頂きました。しかし、残念ながら予定額には到達しておりませんが、皆様の心温まる浄財に感謝申し上げます。

合同教育棟は、平成26年3月16日に竣工式ならびに祝賀会が執り行われました。正式名

は日本獣医生命科学大学E棟です。44号会報でもお知らせしておりました通り、E棟は日本医科大学と母校との二大学の教育施設の役割を果たすこととなります。ここに、二大学発展の礎になることを切願します。

第29号の本会会誌を130周年記念号として、8月に発行しました。内容は、本会の足跡、130周年記念事業、写真で見る学舎の変遷の3部構成となりました。会員の皆様に本会の活動を知らせる目的で、1万余名の会員に送付しました。また、新入生にも、同窓会と母校の変遷を知ってもらうために配布しました。

実施事業は

1 平成25年度代議員会は平成25年7月27日（土）午後12時30分より母校B棟5階第512講義室にて開催された。

2 役員会および各種委員会の開催

①常務理事会…6回開催

②業務・出納監査会

平成25年4月28日（日）

③理事・監事会

平成25年7月27日（土）

④会報編集会議…5回

⑤創立130周年記念特集会誌編集会議…20回

3 主な行事への参加

①平成25年度入学式

平成25年4月5日（金）

②母校第29回学術交流会

平成25年11月9日（土）

③母校主催懇親会

平成25年11月15日（金）

④母校教員との懇親会

平成26年1月21日（火）

⑤平成25年度学位授与式

平成26年3月13日（木）

⑥母校合同教育棟竣工式

平成25年3月16日（日）

4 支部会への派遣

同窓会誌29号発行

平成25年8月 10、461名へ発送

5 会報44号発行

平成26年1月15日 10、149名へ発送

6 送

7 大学への支援

①梅野信吉賞受賞者に副賞を贈呈

②母校へ屋外掛け時計を寄贈

平成25年10月

8 平成25年度母校退職者へ記念品贈呈

9 学生（準）会員への事業

①入学祝い…革製定期券入れ

②卒業記念…ペーパーウェイト

③同窓会長賞…各学科卒業生1名に賞状と記念品

④大学祭への支援

⑤就職支援活動

第2号議案平成25年度収支決算（表参照）の平成25年度一般会計収支計算書、平成25年度特別会計収支計算書、正味財産増減計算書、賃借対照表総括表、財産目録、財務諸表に対する注記、会費納入状況（平成26・3・31現在）について寺田経理事より説明があった。

事業・収支監査報告は針谷監事から報告があった。「平成25年度同窓会業務並びに会計の収支決算を平成26年4月29日母校において厳正に監査いたしました。その結果、証拠書類

等、正しく執行されていることを認めます」。平成26年4月29日。針谷、宮崎、榎本の三監事。

1号議案と2号議案についての質疑応答

質疑はなく拍手で承認された。

第3号議案の平成26年度事業計画

荻野総務理事より説明があった。同窓会館につきましては、母校本館内に同窓会館としての施設を設置したい旨申し入れております。母校の事務所の移転などの事情もありますが、本年度中には具体化する予定です。なお、本館利用には耐震構造に問題があり、耐震措置が行われた後に同窓会館の実現を諮る予定であります。

会則改正は、基本的に会則の大幅な変更でなく全学科参加を念頭にした改正案について、長時間検討した提示案を報告いたします。130周年記念事業の募金状況は、過去の募金活動に比べ予想を下回っています。本事業により、獣医保健看護学科、応用生命科学部の動物科学科と食品科学科の教育・研究施設が素晴らしくなりました。そこで、3学科の同窓生の方々にも合同教育棟を是非視察して頂き、教育環境施設の充実を実感していただき、募金活動へのご支援・協力をお願い申し上げます。

記念事業に対して、昨年倶楽部関係同窓の方に発起人をお願い致しました。立派な武道場はじめクラブ関連施設が完成しましたので、発起人始め、同窓生に視察のご案内をする予定であります。

本年度は、予算と事務的作業が許容されるならば、会報を年2回の発行として、支障なければ継続的に2回の発行と考えております。

本年度は名簿発刊の年ですが、前回と同様に同窓生全員に無料配布の予定です。住所変更など早めに本部に届けて頂きたいので、周知方をお願いします。

実施事業予定

1 平成26年度代議員会、平成26年7月20日(日)午後1時30分より母校E棟1階大講義室にて開催

2 母校創立130周年記念事業の寄付活動の継続推進、合同教育棟および武道場クラブ施設内覧会

3 同窓会館設立の準備

4 役員会および委員会等の開催

5 支部強化活動

①支部会への役員派遣

②その他

6 同窓会報45号、46号の発行

7 同窓会名簿の発行

8 大学への支援

①梅野信吉賞への協賛

②獣医生命科学会への協賛

9 学生会員(準会員)への関連事業

①入学祝い

②卒業祝い

③同窓会褒賞者の表彰・記念品の贈呈

④大学祭への援助

⑤奨学生候補者の選考

⑥就職活動支援

第4号議案平成26年度収支予算の平成26年度一般会計収支計算書、平成26年度特別会計収支計算書が寺田経理事より説明があった。

第3号議案、4号議案についての質疑応答

〔質問〕福岡県支部代議員浜野氏
就職対策費は昨年20万の予算があり、実際は

使われていないとのことですが、今年も20万円予算が上がっていますが、これは父母会や大学側からの要請があったときに使うための予算でしょうか。

〔回答〕寺田厚経理事

これは、学生の就職活動支援の一環で、同窓会に就職でこういふところに行きたいと相談があれば、同窓会から支部の方に連絡して就職を紹介するというのを昔やっていた。

最近、そういったのがないのが現状で、執行されていませんが、何かあつて話が来ればやらざるを得ないと思ってあります。

第3・4議案は拍手で承認された。

審議事項はすべて終了し、吉田事務局長の閉会宣言で終了した。



代議員会終了後、母校「ムラサキ」に於いて、懇親会が行われた。特に、池本学長と中條会長は多くの代議員に囲まれ、話題が尽きないようであった。



懇親会での学長挨拶



第 2 号議案 平成25年度収支決算

平成25年度一般会計収支計算書

平成25年 4 月 1 日から平成26年 3 月31日まで

収入の部 (単位：円)				
科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 同窓会費収入	7,200,000	5,640,000	1,560,000	本年 1,641 口、過年 237 口、 来年 2 口
2 入会金収入	19,450,000	19,450,000	0	50,000 円× 389 名
3 諸収入	69,600	73,203	△ 3,603	
受取利息	19,600	17,613	1,987	
寄付金	10,000	50,000	△ 40,000	
雑収入	40,000	5,590	34,410	
当期収入合計 (A)	26,719,600	25,163,203	1,556,397	
前期繰越金	10,796,454	10,796,454	0	
収入合計 (B)	37,516,054	35,959,657	1,556,397	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差 異	摘 要
1 事業費	17,700,000	13,229,105	4,470,895	
会誌発行費	3,500,000	4,586,962	△ 1,086,962	会誌印刷、発送等
会報発行費	2,800,000	2,060,583	739,417	会報印刷、発送等
事業推進費	1,000,000	200,000	800,000	日本獣医師会年次大会（千葉 H25）への援助
支部助成費	700,000	489,300	210,700	43 支部
学生会員援助費	4,200,000	4,098,745	101,255	入学祝品195万円 (H25,26)、 表彰9.5万円、卒業祝品136万円、 大学祭70万円
学術振興費	800,000	600,000	200,000	母校学術交流会、梅野賞30万円 など
就職対策費	200,000	0	200,000	学生会員就職対策
渉外費	300,000	160,000	140,000	法人母校等との折衝費
慶弔費	200,000	153,515	46,485	本学教職員祝品、弔事など
東日本災害 支援金	2,000,000	0	2,000,000	岩手、宮城、福島など
記念事業費	2,000,000	880,000	1,120,000	中庭への時計設置、
2 会議費	4,000,000	3,385,370	614,630	
代議員会議費	3,500,000	2,764,610	735,390	代議員旅費等、護国寺へのバス 代等
役員会議費	500,000	620,760	△ 120,760	役員旅費等
3 事務費	5,710,000	4,353,910	1,356,090	
事務手当	3,000,000	2,581,545	418,455	事務手当、アルバイト料、通勤 費等
旅費	1,600,000	1,179,040	420,960	支部派遣
印刷費	200,000	136,420	63,580	封筒、コピー代、振替用紙等
通信費	300,000	180,333	119,667	郵便料、電話代等
振替・振込 手数料費	100,000	52,565	47,435	郵便振替、銀行振込
器具備品費	300,000	22,905	277,095	事務機器など
ホームページ 管理運営費	10,000	20,588	△ 10,588	
消耗品費	100,000	117,691	△ 17,691	事務用品類等
雑費	100,000	62,823	37,177	残高証明等
4 特別会計繰入金	9,454,202	9,470,019	△ 15,817	
名簿発行引当金	2,000,000	2,000,766	△ 766	
同窓会館積立 引当金	7,000,000	7,013,837	△ 13,837	
奨学基金引当金	10,000	11,127	△ 1,127	
退職給与引当金	102,200	102,287	△ 87	
減価償却引当金	342,002	342,002	0	
5 予備費	651,852	0	651,852	
当期支出合計 (C)	37,516,054	30,438,404	7,077,650	
当期収支差額 (A)-(C)	△ 10,796,454	△ 5,275,201	△ 5,521,253	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	0	5,521,253	△ 5,521,253	

平成25年度特別会計収支計算書

平成25年 4 月 1 日から平成26年 3 月31日まで

(収入の部) (単位：円)				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
1. 繰入金収入	9,454,202	9,454,202	0	
2. 雑 収 入	17,200	15,817	1,383	
当期収入合計 (A)	9,471,402	9,470,019	1,383	
前期繰越額	84,027,049	84,027,049	0	
収入合計 (B)	93,498,451	93,497,068	1,383	

(積立金別の収入明細) (単位：円)					
科 目	名簿発行	同窓会館	奨学基金	退職給与	減価償却
1. 繰入金収入	2,000,000	7,000,000	10,000	102,200	342,002
2. 雑 収 入	766	13,837	1,127	87	0
当期収入合計 (A)	2,000,766	7,013,837	11,127	102,287	342,002
前期繰越額	4,012,012	68,078,001	7,088,354	491,939	4,356,743
収入合計 (B)	6,012,778	75,091,838	7,099,481	594,226	4,698,745

(支出の部) (単位：円)				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
1. 繰入金取崩	0	0	0	
2. その他支出	0	2,100	△ 2,100	
当期支出合計 (C)	0	2,100	△ 2,100	
当期収支差額 (A)-(C)	9,471,402	9,467,919	3,483	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	93,498,451	93,494,968	3,483	

(積立金別の支出明細) (単位：円)					
科 目	名簿発行	同窓会館	奨学基金	退職給与	減価償却
1. 繰入金取崩	0	0	0	0	0
2. その他支出	525	525	525	525	0
当期支出合計 (C)	525	525	525	525	0
当期収支差額 (A)-(C)	2,000,241	7,013,312	10,602	101,762	342,002
次期繰越収支差額 (B)-(C)	6,012,253	75,091,313	7,098,956	593,701	4,698,745

財 産 目 録

平成26年 3 月31日

科 目		金 額	
Ⅰ. 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現 金	50,000		
(2) 普 通 預 金	44,161,636		
①三菱東京 UFJ 銀行	2,422,180		
②三菱東京 UFJ 銀行	6,012,253		
③三菱東京 UFJ 銀行	7,098,956		
④三菱東京 UFJ 銀行	593,701		
⑤三菱東京 UFJ 銀行	28,034,546		
(3) 定 期 預 金	50,425,981		
①三菱東京 UFJ 銀行	50,425,981		
(4) 郵 便 振 替	4,562,155		
(5) 未 収 金	0		
流 動 資 産 合 計		99,199,772	
2. 固定資産			
(1) 土 地 建 物	0		
(2) その他の固定資産 (什器備品及びパソコンなど)	1,668,028		
固 定 資 産 合 計		1,668,028	
資 産 合 計			100,867,800
Ⅱ. 負債の部			
1. 流動負債			
(1) 未 払 金	0		
(2) 前 受 金	0		
流 動 負 債 合 計		0	
2. 固定負債			
(1) 名簿 発 行 引当金	6,012,253		
(2) 同窓 会館 引当金	75,091,313		
(3) 奨学 基 金 引当金	7,098,956		
(4) 退職 給 与 引当金	593,701		
(5) 減価 償 却 引当金	4,698,745		
固 定 負 債 合 計		93,494,968	
負 債 合 計			93,494,968
正 味 財 産			7,372,832

平成25年度監査報告書

平成25年度同窓会業務並びに会計の収支決算を平成26年 4 月29日母校において
厳正に監査した結果、証拠書類等、正しく執行されていることを認めます。

平成 26 年 4 月 29 日

監事 針谷光二 印
監事 宮崎勇吉 印
監事 桑本卓夫 印

第 4 号議案 平成26年度収支予算
平成26年度一般会計収支計算書

平成26年 4 月 1 日から平成27年 3 月31日まで
(単位：円)

収入の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1 同窓会費収入	7,050,000	7,200,000	△ 150,000	本年度 2,100 口 , 過年度 250 口
2 入会金収入	19,500,000	19,450,000	50,000	50,000 円× 390 名
3 諸収入	6,683,554	69,600	6,613,954	
受取利息	17,600	19,600	△ 2,000	
寄付金	50,000	10,000	40,000	
名簿発行積立金取崩	6,012,253	0	6,012,253	
退職給与取崩	593,701	0	593,701	
雑収入	10,000	40,000	△ 30,000	
当期収入合計 (A)	33,233,554	26,719,600	6,513,954	
前期繰越金	5,521,253	10,796,454	△ 5,275,201	
収入合計 (B)	38,754,807	37,516,054	1,238,753	

支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1 事業費	20,850,000	17,700,000	3,150,000	
会誌発行費	0	4,500,000	△ 4,500,000	会誌印刷・発送等
名簿発行費	9,000,000	0	9,000,000	名簿印刷・発送等
会報発行費	3,000,000	2,800,000	200,000	会報 2 報、印刷・発送等
事業推進費	800,000	1,000,000	△ 200,000	各学科援助、獣医師会年次大会援助
支部助成費	700,000	700,000	0	45 支部
学生会員援助費	3,800,000	4,200,000	△ 400,000	入学祝品 150 万円、卒業祝品 150 万円、大学祭 70 万円、表彰 10 万円
学術振興費	800,000	800,000	0	母校学術交流会、梅野賞 30 万円等
就職対策費	200,000	200,000	0	学生会員就職対策
渉外費	300,000	300,000	0	法人母校等との折衝費
慶弔費	250,000	200,000	50,000	本学教職員祝品、弔事等
東日本災害支援金	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000	岩手、宮城、福島等
130周年関連事業費	1,000,000	1,000,000	0	母校見学会等
2 会議費	4,000,000	4,000,000	0	
代議員会議費	3,300,000	3,500,000	△ 200,000	代議員旅費等
役員会議費	700,000	500,000	200,000	役員旅費等
3 事務費	6,300,000	5,710,000	590,000	
事務手当	3,000,000	3,000,000	0	事務手当、アルバイト料、通勤費等
旅費	1,400,000	1,600,000	△ 200,000	支部派遣
印刷費	200,000	200,000	0	封筒、コピー代、振替用紙等
通信費	300,000	300,000	0	郵便料、電話代等
振替・振込手数料費	100,000	100,000	0	郵便振替、銀行振込等
器具備品費	100,000	300,000	△ 200,000	事務機器等
ホームページ管理運営費	1,000,000	10,000	990,000	
消耗品費	100,000	100,000	0	事務用品類等
雑費	100,000	100,000	0	残高証明等
4 特別会計繰入金	7,359,114	9,454,202	△ 2,095,088	
名簿発行引当金	10,000	2,000,000	△ 1,990,000	
同窓会館積立引当金	7,000,000	7,000,000	0	
奨学基金引当金	10,000	10,000	0	
退職給与引当金	0	102,200	△ 102,200	
減価償却引当金	339,114	342,002	△ 2,888	
5 予備費	245,693	651,852	△ 406,159	
当期支出合計 (C)	38,754,807	37,516,054	1,238,753	
当期収支差額 (A)-(C)	△ 5,521,253	△ 10,796,454	5,275,201	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	0	0	0	

平成26年度特別会計収支計算書

平成26年 4 月 1 日から平成27年 3 月31日まで

(収入の部) (単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1. 繰入金収入	7,359,114	9,454,202	△ 2,095,088	
2. 雑 収 入	18,500	17,200	1,300	
当期収入合計 (A)	7,377,614	9,471,402	△ 2,093,788	
前期繰越額	93,494,968	84,027,049	9,467,919	
収入合計 (B)	100,872,582	93,498,451	7,374,131	

(積立金別の収入明細) (単位：円)

科 目	名簿発行	同窓会館	奨学基金	退職給与	減価償却
1. 繰入金収入	10,000	7,000,000	10,000	0	339,114
2. 雑 収 入	350	17,000	1,150	0	0
当期収入合計 (A)	10,350	7,017,000	11,150	0	339,114
前期繰越額	6,012,253	75,091,313	7,098,956	593,701	4,698,745
収入合計 (B)	6,022,603	82,108,313	7,110,106	593,701	5,037,859

(支出の部) (単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	摘 要
1. 繰入金取崩	6,605,954	0	6,605,954	
2. その他支出	0	0	0	
当期支出合計 (C)	6,605,954	0	6,605,954	
当期収支差額 (A)-(C)	771,660	9,471,402	△ 8,699,742	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	94,266,628	93,498,451	768,177	

(積立金別の支出明細) (単位：円)

科 目	名簿発行	同窓会館	奨学基金	退職給与	減価償却
1. 繰入金取崩	6,012,253		0	593,701	0
2. その他支出	0	0	0	0	0
当期支出合計 (C)	6,012,253	0	0	593,701	0
当期収支差額 (A)-(C)	△ 6,001,903	7,017,000	11,150	△ 593,701	339,114
次期繰越収支差額 (B)-(C)	10,350	82,108,313	7,110,106	0	5,037,859

同窓生近況

叙勲者・市町村長・県議員など
(本部に届け出のみを掲載)

叙勲者

五味四五平氏(専門6期長野県支部) 平成25年
秋

吉田 修氏(大学獣医学科16期京都支部) 平
成26年春

藍綬褒章

市議会当選

山本 克己氏(大学獣医学科18期富山県支部)
富山県氷見市市議会議員

「47—51会」を開催

発起人(大学24期獣医学科)

山口 靖人

平成26年11月2日午前11時、日獣祭で大賑
わいの中、合同教育棟内にある同窓会ブー
スを探していた還暦を過ぎたグループがいた。
そのグループは卒業以来初めて開催する同
期生で、北は北海道、南は九州・四国からの
34名であった。

「47—51会」は、昭和47年から51年の間に
一緒に机を並べた仲間達の会である。

全員がほぼ揃った頃、大学近くの「ひさま
つ」に移動して、12時より開会されました。

大住敬氏(大学26期獣医学科、栃木県獣医師
会副会長)の挨拶後、中條同窓会長による講
演があった。内容は「日獣大の現在・過去・
未来」であり、特に私たちが若く輝いていた頃
の昔話、あるいはもともと古い話に、一同感慨
深く傾聴していました。

講演終了後、北海道の佐藤賢州氏(大学24
期獣医学科)の乾杯の挨拶の後、進行係山口
靖人のもと開宴となりました。卒業後40年ぶ
りに母校を訪れた出席者の中には、「自分は
浦島太郎・花子」の気持ちだと発言される
方々もいました。

思えば、武蔵境駅は橋上化され、南口と北
口の間は昇降なしでそのまま通行可能とな
り、開かずの踏切はもう有りません。

南口駅前ロータリーとイトーヨーカ堂に
なり、往時のパチンコ大学、ボーリング場、
ゴルフ場練習場の面影は全く残っていません。

大学は、最後に残ったグラウンドに合同教育
棟(一部日本医科大生と共用)が建てられ、
砂ぼこりが舞ったキャンパスは様変わりし、
女子学生も増え女子大学の様だと感想を述べ
た出席者もいました。木造校舎も本館と、線
路沿いに残った(ヴォーリズ館)の2棟を残
すのみとなっています。

宴ではアルコールの助けもあり、会話が盛
り上がる中、出席者全員による「近況・遠
況?」報告があり、その内容に各人の若かり
し頃の面影と、人生ドラマを重ねあわせて、
40年間の時間と竜宮城に思いを馳せ、気が付
けば予定の4時を大分過ぎていました。

今回は東京都在住の出席者に幹事(米谷敦
子さん(大学23期獣医学科)をお願いし、オ
リンピックの年ごと(2年に1回)の開会

と、再会を約束しました。そして香川県の山
田猛氏(大学23期獣医学科)の締め言葉で
閉会しました。

その後2次会に23名、3次会に13名出席し
散会となりました。



47—51会集合写真

平成二十六年 度

大分県支部総会が開催された

支部長（大学獣医学科 20 期）

小田原 利美

例年の支部総会は 12 名前後の出席で、顔ぶれは固定化される傾向にあります。支部会の活性化には若い会員の参加が期待されます。

平成 25 年度の代議員会終了後、母校の発祥の記念碑（護国寺）への見学バスで中條会長と隣席しました。そのとき、大分県支部の現状について話す機会に恵まれ、次年度の支部総会での講演依頼について打診しました。その結果、今年の支部総会（平成 26 年 9 月 28 日大分市にて開催）に中條会長をお招きして、講演が実現しました。

中條会長は、自ら持参したプロジェクターを駆使して、母校の現状や今後の課題等について熱心に講演されました。私達は懐かしい映像に学生時代の思い出を重ね合わせ、話を伺っているあつと言う間に一時間が経過していました。その後の懇親会では、会話も弾み楽しい一時を過ごすことができ、会員一同大変感謝しています。



← 大分県支部総会後の懇親会

母校見学会を開催して

平成 26 年 11 月 2 日（日）、大学祭期間中に母校新教育棟（E 棟）の見学会を開催しました。昨日の雨模様から一転し快晴となった当日、会場の E 棟一階の大講義室では、朝早くから同窓会理事、学生アルバイトが飲み物、菓子、記念ハンカチ・ティッシュなどを準備し待機していました。

しかし、会場が大学祭会場の奥まった場所であつたり、広報不足もあつて出足は不調で、同期会を開催したグループと数十名の同窓生が訪れたにとどまりました。



大分県支部総会後の懇親会



← 日獣祭見学者全員へ配布したティッシュペーパー



同窓会ブースに立ち寄られた方への記念タオルハンカチ

同窓会として大学祭に参加するのは初めてでしたが、今回は機会の少ない在校生とのふれあいなど貴重な体験が得られました。来年度の大学祭にも参加予定で、皆様の来校をお待ちしています。

待望の武道場開き

大学16期 吉田 修



武道クラブの関係者の長年の夢でありました武道場が、130周年記念事業の教育棟完成によって実現しました。武道場の完成によって享受する武道関連クラブ空手・剣道・柔道部の三武道クラブの卒業生から、柔道部の藤田 満（大学20期）、石崎孝久（大学23期）、秋田英之（大学32期）、浅野泰輝（現柔道部主将）、前主将村田貴輝（全主将）、空手



道場開き式典



柔道部

部の高梨庸市（大学31期）、荻野秀和（大学53期）、剣道部の武藤慎太郎（大学34期）各氏による道場開きの委員会を立ち上げ、「道場開き」の式と懇親会を平成26年10月11日に開催した。

懇親会での席上、三武道クラブ卒業生を代弁して、私は次のような挨拶をした。

50年前に入学した大学16期卒の柔道部吉田修でございます。

実は、この道場に立つのは今日で2度目です。

1回目は、今年4月12日のことでした。その日は畳の上で大の字になって寝

ころんだり、腹ばいになったり、でんぐり返しをしたり、真ん中であぐらをかいて、腕組みをして四方八方を見回して……しばし思いにふけりました。その時の感激をここにお伝えします。

4月12日所用で上京し、3時間ほど時間が空きましたので、現柔道部主将の村田君に連絡をして、正門で待ち合わせて130周年記念事業教育棟の地下に向かいました。村田君も道場に入るのははじめてのようでした。道場の戸を開けるとアツと感嘆の声を挙げてしまふほどの広い空間。中に入ると畳が敷き詰めてあり、40枚の畳の外側は、赤い畳で区切られていて固定の外枠もあり、いつでも試合が出来るような作りになっていました。畳敷



剣道部

きのすぐ隣は空手や剣道ができるように板敷きの広いスペースが確保されていて、これはまさしく武道場。間借りでもなければ仮の設備でもない、待ちに待った武道専用施設でありました。50年前、40、30、20年前を知る者にとつて夢を見ているような光景でした。私は、深い隔世の思いとともに込み上げる感動に胸を熱くしておりました。

道場開きにお集まりの皆様も、私と同じ思いだと思います。こんなに立派な武道場を作って頂いて本当にありがとうございます。万感の思いを込めて感謝申しあげ、お礼のご挨拶いたします。ありがとうございます。



空手部

事務局だより

この会報は、現在登録の住所にお送りしています。届かない会員がいましたら本部事務局へ住所登録をするようお伝え下さい。

支部会、合同地区同窓会、同期会など開催されましたら、その報告と写真を本部へお送り下さい。会報も年二回（1月7月）の発行となりましたので極力掲載致します。

同窓会本部への連絡

土・日・祝日を除く午前10時から午後4時まで事務員が勤務しています。留守番電話、ファクシミリ、郵便、Eメール等にもご連絡できます。連絡先は本会報一面に記載。

2014年版同窓会会員名簿が

出版されました

すでにお手元に届いていると思います。今回から発送費の節約と見やすさを考慮してA4版としました。旧名簿は、個人情報保護上ご面倒でも焼却か縦半分に切断し左右別々に資源ごみとして処分して下さい。

会費納入のお願い

本会の事業は、会員の会費によって運営されています。本会報に払込取扱票が同封されている方は、個人で会費納入をお願いいたします。なお、払込取扱票が同封されていない場合は、所属支部の指示に従って納入をお願いします。郵便局での振り込み払込取扱票にはお忘れなく郵便番号、住所、氏名を記載し、通信欄には卒業学科と卒業期（封筒の住所ラ

ベルの区分）を記載してください。住所等変更のある方は払込取扱票の通信欄記載の変更有りに丸印してください、本部事務局の登録変更を致します。

本部分年会費一括納入支部へのお願い

本部分年会費を一括納入される支部は、会費納入者名簿を事務局へ郵送、ファクシミリあるいはeメールでお送り下さい。

住所録変更届け

平成26年度会員名簿を昨年12月に刊行し、住所登録全会員へ発送しました。その後住所、氏名、職業等の変更がありましたらハガキ、ファクシミリ、メールなどで変更届けをご提出ください。電話での連絡は記載ミスなどの要因となりますので行っておりません。登録変更は原則として本人申告となっていますが、支部、同期会、友人からの届け出も申告者が明記されている場合は受け付けます。

次に該当される方は本部へご連絡ください

他大学で博士号、修士の学位を授与された方。国会議員、市町村長、県議会議員等に出・再選された方。叙勲を授与された方など。情報提供者を特定できるよう電話以外にてご連絡下さい。

母校動物医療センターと個人病院施設との連携

日々高度医療の進歩に個人病院でも対応できるよう「連携病院登録制度」が発足しました。登録、制度案内などを希望される方は同窓会事務局までご連絡ください。

母校近況

教員人事

庶務課

（平成26年5月21から平成26年10月23日まで）

○新任（平成26年7月1日付）

助教

吉村 久志（獣医保健看護学応用部門）

○新任（平成26年8月1日付）

助教（嘱託）

岡田ゆう紀（獣医学総合教育部門獣医学教育推進室）

○新任（平成26年10月1日付）

助教

知久 和寛（食品安全学）

○任期満了（平成26年9月30日付）

特任教授

清水 一政（獣医学部）

吉村 史朗（獣医学部）

平成26年度動物慰霊祭挙行について

事務部 庶務課

さわやかな秋晴れの10月30日（木）正午より本学「仁畜の碑」前にて、平成26年度動物慰霊祭が、無宗教献花方式をもってしめやかに執り行われた。

開式の言葉に続き黙祷が捧げられ、続いて池本卯典学長より「本日あらためて実験動物の役割とその貢献を認識し、犠牲となった多くの動物達に心から感謝の意を捧げたい」、

学生代表佐藤駿樹学友会会長より「動物と接するに当たり常に学生として学ぶ目的を明確に持ち、真摯な態度と感謝の気持ちを忘れない」とのそれぞれ追悼の言葉が述べられた。

池本学長、田中大学院獣医生命科学部研究科長、新井獣医学部長、阿久澤応用生命科学部長、原動物医療センター副院長、吉村牧場長、天尾生命科学共同施設施設長、鈴木動物実験委員会委員長、佐藤学友会会長の指名献花の後、教職員、学生等約300名の参列者が献花し、動物達の冥福を祈った。



第一回

獣医生命科学会が開催

大会会長 新井 敏郎

平成26年11月9日（日）午後1時から、日本獣医生命科学大学E棟1階大講義室およびエントランスホールを会場として第一回獣医生命科学会が開催された。この学会は昨年まで26年間に亘り開催されていた学術交流会を引き継いだものである。「獣医学教育に関する基準」が公表され、獣医系大学には早急に新カリキュラムに適応した教育体制、共用試験の実施、臨床施設の充実とともに大学院の重点化を図る義務が生じている。大学院教育・研究の可視化が義務付けられ、学内での研究成果発表の場の整備が求められる。他大学では学内学会や学会誌の発行により対応しており、本学も日本医科大学の医学会を模して「獣医生命科学会」を設立した。会長を池本卯典学長にお願いし、第一回大会の総務を獣医学部長である私が担当した。

当日は、学内関係者、同窓会役員、学生、出版関係者等約100名の参加があり、21題の一般演題（ポスター）発表と教育講演（新井敏郎・犬と猫の代謝疾病の比較生化学）、災害動物研究会との合同シンポジウム（羽山伸一・災害時動物マネジメント体制の確立による人と動物が共存できる地域の創造、岡武・災害救助犬の活動と動物医療の必要性について）が開催された（写真）。総会・シンポジウム終了後にポスター発表の中から、役

員らの審査により3演題が「優秀発表賞」として表彰された（手島友子、岡田ゆう紀、落合和彦の3氏）。今回の発表演題を基に来年春には機関誌「獣医生命科学」第1巻1号を刊行する予定である。当面は年2冊の発行（4月および10月）と、将来的にはオンラインジャーナル化を目指す。同窓生には、本学会に入会いただき、それぞれの分野の研究成果を奮って投稿いただきたい。この学会誌の充実には本学研究レベルの向上と卒後教育の充実につながると確信する。

27年度も秋に総会・シンポジウムをよりスケールアップして大学で開催する予定である。28年度以降、地方での開催も視野に入りたい。



平成27年度

日本獣医生命科学大学

入学試験の抜粋案内

入試広報センター

平成27年度日本獣医生命科学大学入学試験の今後の日程案内です。出願期日の締切間近な試験日もあります、詳細については母校入試広報センター（電話：0422-314151）まで問い合わせてください。

入試種別	学部	学科	試験日	試験会場	選抜方法等	出願期間
一般（第1回）	獣医学部	獣医学科	2月5日（木） ※1月17日（土）・1月18日（日）のセンター試験を必ず受験してください	本学 大阪福岡	センター試験英語（筆記）必須 センター試験数学（数Ⅰ・A、数Ⅱ・B）必須 生物（生物基礎・生物）化学（化学基礎・化学） 物理（物理基礎・物理）から1科目選択	1月5日（月）～ 1月16日（金）
		獣医保健看護学科		本学 大阪福岡	英語（英Ⅰ・Ⅱ）必須 数学（数Ⅰ・Ⅱ・A・B）生物（生物基礎・生物） 化学（化学基礎・化学）から1科目選択	
	応用生命科学部	動物科学科	2月6日（金）	本学 大阪福岡	英語（英Ⅰ・Ⅱ）必須 数学（数Ⅰ・Ⅱ・A・B）生物（生物基礎・生物） 化学（化学基礎・化学）から1科目選択	1月5日（月）～ 1月23日（金）
		食品科学科			英語（英Ⅰ・Ⅱ）数学（数Ⅰ・Ⅱ・A・B）生物（生物基礎・生物） 化学（化学基礎・化学）から2科目選択	
一般（第2回）	獣医学部	獣医学科	3月15日（日）	本学	英語（英Ⅰ・Ⅱ）必須 数学（数Ⅰ・Ⅱ・A・B）必須 生物（生物基礎・生物）化学（化学基礎・化学） 物理（物理基礎・物理）から1科目選択	2月16日（月）～ 3月2日（月）
		獣医保健看護学科			英語（英Ⅰ・Ⅱ）必須 数学（数Ⅰ・Ⅱ・A・B）生物（生物基礎・生物） 化学（化学基礎・化学）から1科目選択	
	応用生命科学部	動物科学科			英語（英Ⅰ・Ⅱ）必須 数学（数Ⅰ・Ⅱ・A・B）生物（生物基礎・生物） 化学（化学基礎・化学）から1科目選択	
		食品科学科			英語（英Ⅰ・Ⅱ）数学（数Ⅰ・Ⅱ・A・B） 生物（生物基礎・生物）化学（化学基礎・化学）から2科目選択	

※旧課程履修者への移行措置や範囲の詳細は入学試験要項をご確認ください。

平成26年度体育祭

学生支援課

平成26年11月12日（水）に武蔵野陸上競技場において、平成26年度体育祭が開催された。体育会クラブやサークル、研究室を中心とした約500名の学生が27のチームに分かれて競い合った。恒例の綱引きや騎馬戦、障害物競争、玉入れ等に、体育祭実行委員がアレンジを加えた競技が行われ、フィナーレのリレー決勝では大いに盛り上がり、親交をさらに深めた一日となった。



平成26年度日獣祭

学生支援課

平成26年11月1日（土）、2日（日）に本学において、第65回日獣祭が開催された。本年度のテーマは「POP CORN」はじけろみんなのフレイバー」で、来場された方全てが、人も動物もはじけるように楽しんでほしいという意味である。

1日目はあいにくの雨にもかかわらず1、318人、2日目には雨も上がり4、317人、合計で5、635人もの来場者があった。研究室やクラブ・サークルの展示、音楽系団体の演奏や合唱、体育系団体の演武やパフォーマンス、動物とふれあえるミニミニ牧場や恒例のペットショー等大いに盛り上がり、「動物と食」という本学にふさわしい2日間が終了した。



愛奏会発表



正面入口



中庭のフーズマーケット



ペットショー



←テーマ通りはじけてました

新年の御挨拶

一業所感

日本獣医生命科学大学学長

池本 卯典



同窓会の皆様、新年御目出度とうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年も何卒よろしく御協力下さい。

昨年は、日本獣医生命科学大学にとって画期的な環境変化のあった年でした。そのひとつは開学以来類をみない巨大な教育棟の新設、そして日本医科大学医学部基礎科学課程の武蔵境キャンパス即ち本学への移転です。本学は4月5日に385名を、4月11日には医学部114名のフレッシュマンを迎えました。

新教育棟のポイント、各階のラウンジに立つて18才の爽やかな素顔を眺めながら、かつて少しか読んだ論語の薄れた記憶を辿りました。《畏るべし。いづくぞの今に如からざるを知らん》、その意味は《若い人は畏るべきだ、これから出てくる人が現在の自分達程になれないと誰がいえようか》。自分より年下の人を尊重しようという謙虚な気持ちを説いた箴言と、佐々木恒夫さんは論語入門に述べています。老いてゆく者として沈思黙考した次第でした。

日本医科大学医学部基礎科学課程の本学移転の由縁《異学同棟》は、すでに同窓会報45号に詳述しましたが、異学同棟は未経験ではありません。今を去る70年前の昭和23年、日本獣医畜産専門学校時代に新教育制度による

武蔵境高等学校を併設し、昭和31年に募集を停止、昭和41年に閉校しています。その間の卒業生は僅か378名とはいえ夜間授業により勤労少年達の向学の夢を紡ぎました。その高校閉校当時、本学は日本医科大学傘下になりました。次いで、昭和41年より平成17年及び47年間本学は日本医学技術専門学校を併設して質の高い臨床検査技師を養成し、2、044名を輩出しています。その専門学校も夜間課程であり、勤労青年達の資格取得を支援し高く評価されました。これらの高等学校と専門学校の運営には本学教職員の強力な協力があつたようです。しかし、昼間教育の大学とは接点も少なく、異学同棟とはいえ極めて緩やかな共存でした。

現代の科学と社会における生命科学や情報技術発展の普及はまさに洪水。一方、突然襲いかかる地震、津波、台風、噴火、疫病等、相次ぐ自然災害に対応する戦略はまさに緊急課題。文部科学省はその分野に活動できる人的資源の養成を国・公・私立大学に養成講座を開設し一般市民にも開放して人材養成を始めています。

さて、国家の私立大学に対する平成27年度助成予算の概略は、経常費補助3、303億円、内訳は一般補助2、819億円、特別補

助484億円、改革総合支援補助201億円等が計上されています。補助費の配分は私立603大学が対象です。因みに、前年における日本獣医生命科学大学経常費補助は約5億円(147/560)、科学研究費助成約1億円(81/650)、その他、競争研究費として教育向上計画助成約1、100万円、産学官共同研究計画助成約600万円等を獲得しています。この助成額は学生収容定員2、000人以下の小規模大学としてはトップクラスに仲間入りしています。

日本の高等教育に対する公財政支出は、教育先進国とランクされる国家31の中で、GDPに占める支出割合は、2011年は3.6%、OECDの平均は5.3%でした。それが2014年の発表によると教育関係費は0.5%に落ち込み、OECDの平均も1.1%と低下しています。日本の0.5%は韓国より低く、OECD加盟国の中で最下位のようにです(教育学術新聞2579号)。

明治14年9月15日、弱冠21才の田澤直孝獣医官を総代に生徒17名、荒井校長を含む教員10名によって開校した私立獣医学校から135星霜を経た日本獣医生命科学大学。許されている学生定員1、600名、多少オーバーして在学生数1、713名。そのうち女子学生は1、000名を超えました。大学院は前・後期院生併せて63名、それに医学部基礎科学課程114名が加わりました。本学の教員は常勤132名、非常勤112名、職員68名、病院専任教員28名。獣医療費収入は5億円を超えました。

昨今の大学界間の話題に就職偏差値があります。本学の就職率は98%。獣医師国家試験

合格率は昨年88%と不調、近年は98.6%から80%程度を右往左往、これを95%に固定するのが私の念願です。本学の財政規模は帰属収入は約50億円、収支差額は約6億円。学校法人日本医科大学の帰属収入は約830億円、本学はその約1/20程度です。

末辞になりましたが、同窓会の皆様の御交誼に感謝すると共に、大学の近況報告を重ね、新春の御挨拶とさせていただきます。

